

和歌山県立たちばな支援学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。  
今年度より校長に着任しました 鷹幕 潤です。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、前には海が広がり、後ろには山と、自然に恵まれた環境の中にあります。  
また、近くには稲村の火で有名な濱口 梧陵さんが私財を投じ、住民離散を防ぐ意味を持つとともに、再び襲来するかもしれない津波に備えて街を守るために作ったという「広村堤防」があり、津波防災教育センター「稲村の火の館」があります。令和3年度に、創立30周年を迎え、歴史と風土の重さを感じながら新たな学校として進んでいきたいと思いをします。

今年度は、小学部 85 名、中学部 55 名、高等部 64 名で全校では 204 名となります。

本校は、学力、健康、社会性、自主性を4つの柱において、生きる力を育むことをめざしています。この4つの力をばらばらに育てるのではなく、それらを関連させることで、生きる力の育成につなげていきたいと考えています。また、近隣の様々な方との交流を積極的に行い、違った風を校内に取り入れることで、子どもたちの自立と社会参加に向けた教育活動を充実できるよう取り組んでいきます。

本校に通う子どもたちが「未来に希望の花」を咲かすことができるよう、全職員が協力して取り組んでいきたいと思いをします。

今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



和歌山県立たちばな支援学校長  
鷹 幕 潤